

令和6年度 青果物販売情勢について

令和6年8月7日（水）現在

【きゅうり】

東北産地の露地物がピークとなり雨よけ作の増量も重なり入荷量多く、荷動きは鈍化傾向のため相場は弱保合となっております。

【単価】 A 2500-2000 B 2300-1800

【ミニトマト】

給食需要がなく、量販店中心の販売の中で、東北産の増量が鈍く荷動きは落ち着いており相場は保合となっております。

【単価】 AL 180-130 AM 200-150

【ピーマン】

岩手県産が微増程度で入荷量は少ない状況は変わらず、袋物・バラ物ともに荷動きは良く高値を維持した販売となっております。

【単価】 AL 110-80 AM 110-90

【インゲン】

高温による花落ちにより各産地入荷量は減少しており、不足感が強まり相場はジリ上げとなっております。

【単価】 AL 2800-2300 A 3000-2600

JAふくしま未来
営農経済部園芸課